

熊谷市中心市街地活性化基本計画（案）に対するご意見と市の考え方

- 1 意見募集期間
平成24年10月25日（木曜）から平成24年11月15日（木曜）まで
- 2 意見の提出者数及び意見等件数
提出者数 6名
意見等件数 17件
- 3 意見の内容と市の考え方
寄せられた意見の概要とこれに対する市の考え方については、次の表のとおりです。

該当施策・事業名	意見の概要	市の考え方
P94 4章 歴史文化ゾーン散策コース整備事業	中心市街地内の歴史・文化施設をつなぐ散策コースによるまちなか観光を進めるために、公衆トイレを設置されたい。	現段階で、公衆トイレの設置は計画しておりません。既存の施設や店舗と調整し、まちなか案内マップ等作成の際にトイレが利用できる箇所を記載するなど検討させていただきます。
P103, 104 5章 北部地域振興交流拠点施設（仮称）整備事業	北部地域振興交流拠点施設（仮称）の中に、放送大学のサテライトスペースを誘致してほしい。（埼玉学習センター分館としてでも可）	施設内に導入を検討しているにぎわい施設の案として参考にさせていただきます。
	北部地域振興交流拠点施設に、趣味に特化した店や美術館、体感展示があったらおもしろい。	施設内に導入を検討しているにぎわい施設の案として参考にさせていただきます。
P106 6章 居住環境向上全般	まちなか居住者の生活を充実させるための衣・食・住のニーズを満たすことに加えて、演芸場などの娯楽場所を設置するなどコミュニティ再生の施策をいれてほしい。	基本計画内で、多様な事業を計画しております。土地の有効利用により、優良な住宅の供給の促進を支援していきます。また、コミュニティ再生を促進する娯楽場所の設置については、「まちなかコミュニティストリート再整備事業」等で、事業実施の段階で参考にさせていただきます。
P108 6章 熊谷安心お助け隊事業	買い物代行など高齢者の日常生活をサポートしている熊谷安心お助け隊の活用を図るために、全市的に広げるような支援をお願いしたい。	各商店街や商店街連合会等と連携し、事業拡大に向けた検討をさせていただきます。
P109 7章 空き店舗対策	女性の能力やアイデア等を活用できるような施策を取り入れられたい。（プチ起業等）	基本計画内の「ハイブリッド型ビジネスシェア事業」や、「まちなかコミュニティストリート再整備事業」において、空き店舗対策を計画しており、事業化への提案の参考にさせていただきます。
P110 7章 クールシェア事業	現行のミニFMラジオの支援を検討されたい。（例：クールシェア事業関連情報の提供等に活用する。）	ご提案していただいた内容を事業実施団体と検討させていただきます。
P113, 118 7章 まちかど観光案内所設置事業、まちなかの駅	まちかど観光案内所の機能を強化するために、上熊谷駅前にある「まちなかの駅くまがや」をあと2つ以上設置されたい。	「まちなかコミュニティストリート再整備事業」等で、事業を実施する段階で参考とさせていただきます。

P116 7章 まちなかモール委員会事業	関係者だけの集まりでは、変わらないのではないのでしょうか。	まちなかを皆さんが利用しやすく、人が集まる仕組みを検討し、いろいろな方のご意見を伺いながら実施していく予定です。
P116 7章 観光情報サイト開発・運営事業	まちの駅として登録された商店街、商店等にスマートフォンやパソコンの充電スペースの設置、wifiスポットを導入してほしい。	ご提案として伺い、実施の段階で参考とさせていただきます。
P118 7章 熊谷駅東口ウインターイルミネーション事業	イルミネーション事業をもっと広範囲に実施してほしい。	広範囲で実施できるよう商店街や地元住民の皆様と調整していきます。
P121 7章 景観とおもてなし検討委員会事業	昭和のレトロな感じのする看板建築等を保存（移築も可）し、景観形成を行ってほしい。	景観の検討は、地域の方やお客様の意向が重要で、実際の景観形成は、地域の方のご協力が不可欠です。いただいたご意見は、景観形成の方向性の一例として参考とさせていただきます。
P124 8章 ゆうゆうバス熊谷駅周辺路線「直実号」位置情報取得サービス導入事業	ゆうゆうバス位置情報システムを導入しても乗車率はあがらないと思われる。	ゆうゆうバスについては、増便やルート変更、バス停の新設など様々なご要望を頂いており、財政状況を勘案しつつ皆さんが利用しやすいバスとなるよう研究を進めております。また、位置情報サービスについても熊谷市地域公共交通総合連携計画で計画しておりますので、ご提案として伺い、参考にさせていただきます。
P128 8章 まちなかアートギャラリー事業	まちなかアートギャラリー事業を横浜市の「黄金バザール」のように、市民と（アートの）専門家が一体となって活動できるような事業に発展させていきたい。	ご提案として伺い、実施の段階で検討させていただきます。基本計画内では、「まちなかモール委員会」の設立等、担い手の育成や連携を促進し、市民が主体となるような仕組みづくりも含まれております。事業実施の際は、市民協働「熊谷の力」事業をご案内するなど、市民と行政による協働のまちづくりを推進していきます。
観光施策	北部地域振興交流拠点施設に導入する機能として、次世代産業を検討するならば、欧米で使用されているセグウェイの導入を検討されたい。	活用モデルを検討しており、超小型車等シェアリング事業のなかで、事業実施に向け推進していきます。
集客施策、教育施策	熊谷駅近くがいいと思うが、市立女子高跡地を活用する等、市内に大学付属私立高校を誘致してほしい。	熊谷市立女子高等学校は、平成19年度をもって廃校となり、その跡地活用の一つとして私立高等学校等の誘致を行った時期もありましたが、厳しい経済状況やこれに伴う各学校法人に関する動向などを見据え、誘致を断念した経緯があります。なお、旧熊谷市立女子高等学校の施設は、小さな子どもから高齢者までの幅広い世代の市民の皆さんが生涯にわたって文化・スポーツに親しめる施設「（仮称）スポーツ・文化村」として整備することとし、平成25年9月の一部オープンに向け、今年度、施設改修工事や道路拡張の工事を進めています。
全般に対する意見	全体的にもっと注目を集めるような、話題性のあるものがほしい。	熊谷市は、日本一暑いまちとして注目を集め、これを逆手にとった「あついぞ！熊谷」事業を実施するとともに、「クールシェア」等の環境対策にも官民一体となって取り組んでおります。今後、中心市街地活性化協議会等の意見を伺いながら、真に活性化となる施策をさらに検討し、ご提案の趣旨を踏まえ、基本計画の変更や新規事業の追加も踏まえて対応させていただきます。